

平成30年度に向けた農林水産部の施策の基本方針

現状と課題

- 次代を担う「多様な担い手の確保・育成」
- 東京オリパラやグローバル化に対応した「産地力の強化」
- IoT、ビッグデータ、AIを活用した「技術の革新」
- 需要拡大に向けた「ブランド・輸出戦略の展開」
- 生産性向上と強靱化に対応した「生産基盤の整備」
- 農山漁村における「インバウンド対策の強化」

これまでの取組み

- ◆農林水産3分野の「人材確保・育成体制」の整備 研修コースの再編・定員拡充！
- ◆農林水産3分野の「サイエンスゾーン」の構築 次世代園芸ハウス稼働！
- ◆情報発信と交流の拠点「ターンテーブル」の整備 H30年2月グランドオープン！
- ◆「とくしま安2GAP」の取得促進 延べ2,095人の認定！（H29.7末）
- ◆「食と農の景勝地」、「日本農業遺産」の認定支援 日本唯一のダブル認定！

「農林水産基本計画」の着実な実行

I 人を『育む』－次代を担う人材への投資－

1 多様な担い手の確保

- ① 「地域ぐるみ」での定着支援やPR動画での「魅力発信」による若手従事者の確保
- ② 「女性就業者」のネットワーク化や就労環境の改善支援による農林水産女子の参入・定着促進
- ③ 「農福連携」での藍生産モデル構築による農業参入支援

2 即戦力となる人材の育成

- ① 「農業大学校」の本科コース再編や「林業・漁業アカデミー」の充実による実践的技術を有する人材の育成
- ② 「6次産業化研究施設」の「オープンラボ機能」の活用による6次化人材の育成
- ③ 海外マーケットへの派遣による輸出に取り組む生産者の育成

3 就業希望者の受け皿への支援

- ① 「農山漁村未来創造事業」を活用した「地域の実情」に応じた支援による経営力の強化
- ② メリットシステムによる「サイエンスゾーン」への企業・大学の参入促進
- ③ 「高性能林業機械」の導入支援や「漁業経営モデル」の活用による起業化・法人化支援



II 生産を『増やす』－市場ニーズや地域特性に応じた生産振興－

1 産地構造改革の促進

- ① 「地域商社・阿波ふうど」の活動展開による「マーケットイン型」の産地づくりの推進
- ② 本県ならではの新品種育成や「特A米」取得促進による県産米の競争力強化と「阿波十割」のブランド化による酒米生産拡大
- ③ 品目毎の「課題解決プログラム」の実践によるブランド産地のリノベーション

2 グローバル化に対応した生産拡大

国際競争力の強化

- ① 「GAP」・「有機JAS」取得促進による「とくしまエシカル農産物」の生産拡大
- ② 「畜産GAP」・「HACCP」取得促進による「阿波畜産ブランド」の生産拡大
- ③ 「森林認証」・「CoC認証」の取得促進による「徳島すぎ」の生産拡大
- ④ 「水産エコラベル」の認証取得促進による「養殖ハマチ」の付加価値向上

3 オープンイノベーションの加速

- ① IoT・ビッグデータ・AIを活用した「スマート農業」の展開による超省力化・高品質化の推進
- ② 気象・入荷・販売データ等の分析による産地づくりや販売計画につながるモデルの構築
- ③ IoTを活用した「シカ捕獲技術」やGPSを活用した「サル被害防止技術」の確立による鳥獣被害防止対策の推進



Ⅲ マーケットを『拓く』－需要拡大に向けた販売力強化－

1 ブランド戦略の推進

- ① 「ターンテーブル」や2台の「PR車両」の活用による「とくしまブランド」の認知度向上・販路拡大
- ② 「モーダルシフト」の実践による「新物流ブランド」の創出・販路開拓
- ③ 「徳島すぎブランドエージェント」の活動展開による「徳島すぎ」の需要拡大・販路開拓
- ④ 生産量トップクラスの「ハモ」のキャンペーンによる認知度向上・販路拡大

2 6次産業化の推進 国際競争力の強化

- ① 産学官金連携による「オール徳島体制」での新商品開発や販路開拓の推進
- ② 東京オリパラを契機とする「藍」の生産・利用拡大の推進
- ③ 「藍に関する研究開発プラットフォーム」による「藍」の研究・商品開発推進

3 海外輸出展開の推進 国際競争力の強化

- ① 「新たな輸送ルート」の構築や鮮度保持技術の確立による
本県農畜水産物の輸出拡大
- ② 産官金連携での輸出モデルの構築による事業者の支援
- ③ アジア市場での「なると金時」や「阿波尾鶏」のPRによる
業務需要の創出
- ④ EU市場に対応した輸出型園地の整備による「すだち」の販路拡大



turntable



Ⅳ 生産を『支える』－強靱な生産基盤の整備－

1 農林水産業を支える生産基盤の整備

- ① 農産物の品質向上に向けた「国営総合農地防災事業及び関連事業」の推進
- ② 「農地中間管理機構」との連携による基盤整備の加速化
- ③ 県産材の増産に向けた路網整備の推進
- ④ 「藻場造成」によるアワビ漁獲量の拡大や効果的な資源管理の促進

2 生産基盤の戦略的な維持管理

- ① 適時適切な施設の長寿命化対策による維持管理の効率化
- ② 農地中間管理機構を活用した農地集積加速による農地利用の効率化・高度化
- ③ 森林の流動化に関する情報の一元化による適正管理や流動化促進

3 大規模災害を迎え撃つ対策の推進

- ① 被災後の復旧・復興の迅速化に向けた「地籍調査」の推進
- ② 大規模災害からの迅速な経営再開に向けた「農業版BCP」・
「漁業版BCP」の推進
- ③ 県民の生命や財産の保全に向けた治山事業・地すべり防止事業など
防災減災対策の推進



Ⅴ 地域を『守る』－活力と魅力にあふれた農山漁村の創出－

1 農山漁村地域の魅力創出・交流促進

- ① 農山漁村の魅力や価値の再発見による農山漁村地域の更なる活性化
- ② 観光客の受け入れ体制の整備促進による「農泊」取組み地域の育成
- ③ 農村体験スポットの発信によるインバウンドをはじめとする交流人口の拡大

2 鳥獣被害対策の推進

- ① 地域ぐるみの鳥獣被害防止対策の推進による農作物被害の軽減
- ② 鳥獣の捕獲・処理・加工から流通・消費・PRまで一体的に実施する
「ジビエフードシステム」の構築
- ③ 「日本ジビエサミット」開催を契機とする「阿波地美栄」の普及

3 多面的機能の維持保全

- ① 「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊」による農山漁村地域と
大学・企業等の協働促進
- ② 公有林化の推進やとくしま協働の森づくり事業での協働管理、
「県版保安林」指定による水源林・県土保全の機能の維持増進
- ③ 「日本型直接支払制度」を活用した地域農業を支える取組みの支援

